

MEC Industry (株) を見学しました！

今年6月に湧水町木場(栗野工業高校跡)に竣工したMEC Industry株式会社は国産材の有効活用を目指し、三菱地所及び南国殖産(株)や山佐産業(株)など7社の出資で設立された会社です。6500坪超の製造棟のほか、1200坪弱の製材工場、12基の人工乾燥庫、天然乾燥場他で27500坪の広大な敷地のほか、近くの鹿児島湧水素材センター(6750坪)で原木の受入れ、皮はぎを行った後、製材工場へ搬入していた。原木は4M材で末口φ34cm以上の大径木で1日200m³(約400本)の製材を行うという。製材は全て板材(ラミナ)にし、自動棧積み後、自然乾燥を行う。自然乾燥後人工乾燥を行うが、この際のボイラーは素材センターのバークや製造工程の端材を利用している。SDGsに取組、廃棄される物を極力減らしているという。製造工場は自動化されており、ほとんど作業者は見られない。ここでは乾燥ラミナをグレーディングした後、2×4材、CLT材、幅はぎ材を生産している。このほか、工場の一角ではCLTや2×4材を使った住宅(MOKUWELL HOUSE)のユニットを組み立てていた。各ユニットにキッチンやユニットバス、洗面化粧台、トイレ、アルミ樹脂複合サッシなどの共通設備や内装工事を施したのち現場へ出荷する。現場では各ユニットを組み立て、防水処理を行う。現場作業人工を半分以下にすることで高品質な家を低価格で提供できるという。

工場近くのモデルハウスは2LDK+ウッドデッキの22坪タイプ(9個のユニット)と4LDK+ウッドデッキの29坪タイプ(12個のユニット)の2棟があった。屋根はCLTに塩ビシートを貼ったもので、ほぼ水平だった。沖縄方面では敬遠されるので屋根材は変えるとの事。断熱材は使っていないが、CLTの厚さと木材の持つ断熱性能で問題ないという説明だった。上記2タイプは、運賃や外構、給排水を除いて1000~1300万円だという。これが安いのか高いのかはそれぞれの判断だろうが、軒の出が少ない事と収納が少ない事は生活スタイルによるのだろうか。使用する原木はφ34cm上用の設備になっているが、今後生産量が増えると中小零細製材所への原木供給が心配である。また、MOKUWELL HOUSEの供給を増やす予定(3~400棟/年)との説明だったが、地場の中小工務店さんとの競合によっては我々の仕事への影響が心配される

【情報】

「第23回 かがしま木材まつり」が開催されます！

昨年同様、大型商業施設で県内の木工作家による木製品の展示・販売や木育インストラクターによる木育教室、JAS材・認証かがしま材のPRや木材利用拡大施設等のパネル展示、木造住宅相談コーナー設置などを行う。

日時 10月29日(土)~30日(日)10:00~17:00

場所 イオンモール鹿児島 1階「風の広場」

【定休日】

9月は3, 4, 10, 11, 17, 18, 23, 25日

10月は2, 8, 9, 15, 16, 22, 23, 30日となります

宜しくお願いします



29坪タイプモデルハウス